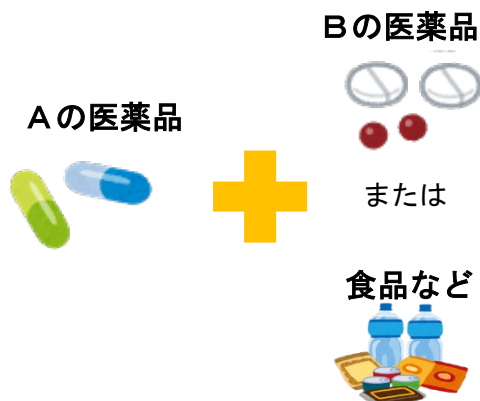


そうごさよう

医薬品には相互作用があるんだよ！

医薬品と医薬品、または医薬品と^{いんしょくぶつ}飲食物の組み合わせによっては、よくない影響が出ることがあります。

このよくない影響を相互作用といい、防がなくてはなりません。



医薬品の効果が **強くなりすぎ** ↑

副作用が出やすくなる
肝臓や腎臓などに障害を起こす

医薬品の効果が **弱くなる** ↓

病気が治りにくくなる

<医薬品と飲み物>

医薬品は、水か^{さゆ}白湯（ぬるま湯）で飲んでください。水や白湯以外の飲み物は医薬品の作用を強めたり、弱めたりすることがあるので避けましょう！

食品	薬	相互作用
牛乳	一部の 抗菌薬など <small>こうきんやく</small>	医薬品の効果が弱まってしまう (カルシウムと医薬品がくっつくため)
お茶 コーヒー	一部の 咳止めなど <small>せきど</small>	医薬品の効果が強くなりすぎてしまう (咳止めにはカフェインと似た性質のものがあるため)
グレープフルーツジュース	一部の 高血圧薬など <small>こうけつあつやく</small>	医薬品の効果が強くなりすぎてしまう (グレープフルーツジュースが体の酵素 <small>こうそ</small> の働きに影響して、 医薬品の分解を遅らせるため)
アルコール	様々な 医薬品	医薬品の効果が強くなりすぎてしまう (アルコールが医薬品の分解を遅らせるため)

<医薬品と食品>

食品	薬	相互作用
ビタミンKを多く含む食品 納豆、緑黄色野菜（ブロッコリーなど）をお皿 いっぱい量を食すること	抗血栓薬 (ワルファリン) <small>こうけつせんやく</small>	ビタミンKが血液を固まりにくくするワルファリン という医薬品の効果を弱めてしまい、血液が固まり やすくなってしまふ
カルシウムを多く含む食品 (小魚、チーズ、ヨーグルトなど)	一部の 抗菌薬など	医薬品の効果が弱まってしまう (カルシウムが医薬品とくっつくため)

「医薬品と飲食物」の組み合わせは、薬剤師などから注意を受けていても“うっかり”してしまうことがあるので注意しましょう！

《 出張相談会 — 保健室に薬剤師が来ます — 》
おくすりナビ、医薬品や健康などについて、質問・相談がある人は保健室まで！
8月はお休みします。次回は9月19日に行います。

作成・発行元 北陸大学薬学部 准教授(薬剤師) 大柳賀津夫
金沢大学医薬保健研究域薬学系 教授(薬剤師) 松下 良
金沢大学医薬保健学域薬学類6年生 中川璃子